

地域で育くむ思いやりのところ…

野菜が結んだ、児童と高齢者の「ふれ愛交流」

立科小学校3年1組では、昨年の秋から総合学習の時間に育て・収穫した野菜を一人暮らしの高齢者に届けて、「元気になってもらいたい。」「読み聞かせや手遊びなどを一緒にして喜んでいただきたい。」と願いながら、お宅訪問をしています。

昔の生活の様子やどんな遊びをしていたか等のお話をお聞きしたり、学校の授業で学んだことを発表しながら、交流を深めています。

核家族化の影響で、世代間のふれ合いも少なくなっていますが、地域包括支援センターでは、今後も地域での「見守り」や「思いやりの心」が育ち根付いていくよう、支援していきます!!

